

4月1日運用開始の「ジョブローテーション施策」

団体交渉と異なる人事運用に職場から

怒い不安の声多数!

パート1

確認した労使議論①

- ・自己申告書は、自分の意思で自ら描くキャリアプランを記入する。
- ・面談で、社員の夢や希望をありのまま把握する。希望の変化もしっかり把握する。

実際は・・・ → 秋の面談以降、管理者と社員のコミュニケーションは一切なし!
管理者が寄り添っての対話は、面談以降今までなし!

組合員の声

- ・自己申告書は「紙きれ」ではないか。面談の意味がない!
- ・全員にキャリアプランをだされておいて全く希望に添えない異動なら、希望とる意味ない。
- ・個人面談以降、何も話が無く直前に希望通りでない異動の話がされたら、誰だって仕事に手がつかなくなる。
- ・第三希望までのひとつでも通るのならまだしも、ゼロでは働く意欲がわからない。社員に対するイジメにしか見えない。
- ・自分の希望も無視されるか不安。
- ・自分の希望が支社に正確に伝わっているのか不安。

組合員が希望を持って仕事ができるよう 施策の問題点に対し「声」を挙げよう!

→ 地本は「緊急申し入れ」を提出し支社と議論します!